ATH-DWL770R
ATH-DWL550R

取扱説明書 / デジタルワイヤレスヘッドホン

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

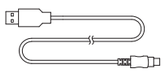
・本製品は、ATH-DWL770 ／ ATH-DWL550 の増設用ヘッドホンです。お買い上げの製品型番をご確認のうえ、取扱説明書をお読みください。
・本書では詳しい機能の説明を省略しています。すべての機能を確認したい場合は、ATH-DWL770 ／ ATH-DWL550 の取扱説明書をお読みください。

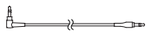
■ 同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口までご連絡ください。

■ ATH-DWL770R

・ヘッドホン
(ATH-DWL770R)

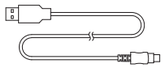

・充電用USBケーブル(1.0m)


・コード
(φ3.5mmステレオミニプラグ(L型)
⇔φ3.5mmステレオミニプラグ(1.2m))

・取扱説明書(本書)　・保証書

■ ATH-DWL550R

・ヘッドホン
(ATH-DWL550R)


・充電用USBケーブル(1.0m)

・取扱説明書(本書)　・保証書

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

■ ヘッドホンについて

⚠警告

●心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
●本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
●航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない
交通事故などけがの原因となります。
●周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しない
交通事故などけがの原因となります。
●肌に異常を感じた場合は、使用しない。
すぐに使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

⚠注意

●耳をあまり刺激しない適度な音量で使用する
大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
●火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。
●ジョイント部に指などを挟まない
けがや事故の原因になります。

■ 充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
・ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

■ 本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先:　〒915-0003　福井県越前市戸谷町87−1
株式会社オーディオテクニカフクイ　二次電池回収担当　宛
TEL : 0778-25-6736

■ 内蔵充電式電池の交換について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。
内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

●サービスセンター　0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）

■ 使用上の注意

●ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
●交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
●接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
●乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
●強い衝撃を与えないでください。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また、水がかからないようにしてください。
●本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
●付属のコードや充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグなどに入れるとコードや充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
●付属のコードや充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードや充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
●付属のコードや充電用 USB ケーブルを使用しないときは、必ず本製品からコードや充電用 USB ケーブルを外してください。
●本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。予めご了承ください。
●本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
●テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
●内蔵充電式電池を保護するため、半年に1度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
●本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(**目安として 10 ～ 35℃**)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
●ラジオを接続しないでください。ラジオの音声にノイズが入ることがあります。

■ デジタルワイヤレス／*Bluetooth*® 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

・本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。
・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
・本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。
・本体の表示について

<デジタルワイヤレス>
2.4FH8　この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、AFH 変調方式、与干渉距離が 80mであることを表します。

<Bluetooth>
2.4FH1　この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。
変調方式として FHSS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth 搭載機器・無線 LAN を使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

− 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
− 病院内では使用しない。

■ 使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
Bluetooth 標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

■ 通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品を Bluetooth 搭載機器の近くで使用してください。

■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。
●本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
●コードが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
●プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。
●イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

・長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
・イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。
イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ その他の機能

■ オートパワーオフ機能について

本製品はオートパワーオフ機能があります。トランスミッターがONの状態で約5分間音声信号がない、もしくは機器の音量が小さい状態が続くと、自動的に省電力の状態になります。また、ヘッドホンはトランスミッター停止後、約5分で自動的に電源OFFになります。Bluetooth接続では5分間機器と接続しない状態が続くとヘッドホンの電源がOFFになります。ただし、Bluetooth接続中および接続待ち状態では、オートパワーオフ機能がないため、ご使用後は必ず電源を切ってください。

■ リセット機能について

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は充電中にヘッドホンのボリュームボタン(+)を押すことでヘッドホンがリセットされ症状が改善します。改善しない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでお問い合わせください。リセットしても、ペアリング設定や音量などは初期化されません。

■ テクニカルデータ

■ ATH-DWL770R

Bluetooth 通信仕様

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.4.2 準拠
RF 出力	2.1mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で 10m 以内
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402GHz ～ 2.480GHz)
変調方式	FHSS
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	Qualcomm® aptX™ audio、Qualcomm® aptX™ low latency audio、AAC 、SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
伝送帯域	20 ～ 20,000Hz

ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ42mm
出力音圧レベル	99dB/mW
再生周波数帯域	5 ～ 40,000Hz
インピーダンス	32Ω
RF 出力	7.9mW EIRP
入力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック
電源	DC3.7V リチウムポリマー電池 (内蔵式)
質量	約 262g

マイクロホン部

型式	エレクトレットコンデンサー型
指向性	全指向性
感度	-42dB(1V/Pa、at 1kHz)
周波数帯域	50 ～ 4,000Hz

その他

充電時間	約 4 時間 *
使用可能時間	連続通信：最大約 12 時間 (デジタルワイヤレス接続時、Bluetooth 接続時)*
使用温度範囲	5℃～ 40℃
付属品	充電用 USB ケーブル (1.0m) コード（φ3.5mm ステレオミニプラグ (L 型) ⇔ φ3.5mm ステレオミニプラグ (1.2m)）
別売	交換イヤパッド（HP-DWL770）

*使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

■ ATH-DWL550R

ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ42mm
出力音圧レベル	99dB/mW
再生周波数帯域	5 ～ 40,000Hz
RF 出力	7.9mW EIRP
電源	DC3.7V リチウムポリマー電池 (内蔵式)
質量	約 257g

その他

充電時間	約 4 時間 *
使用可能時間	連続通信：最大約 12 時間*
使用温度範囲	5℃～ 40℃
付属品	充電用 USB ケーブル (1.0m)
別売	交換イヤパッド（HP-DWL550）

*使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

・Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。
他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
・"AAC"ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
・Qualcommは、米国およびその他の国で登録されているQualcomm Incorporatedの商標であり、許可を得て使用しています。
aptXは米国およびその他の国で登録されているQualcomm Technologies International, Ltd.の商標であり、許可を得て使用しています。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続･注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00～17:30)
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
● **お客様相談窓口(製品の仕様･使いかた)**　0120-773-417
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX:042-739-9120　Eメール:support@audio-technica.co.jp
● **サービスセンター(修理･部品)**　0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX:042-739-9120　Eメール:servicecenter@audio-technica.co.jp
● **ホームページ(サポート)**　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬 2-46-1
www.audio-technica.co.jp

ver.1　2017.04.28
132313071-01-02　ver.2　2017.06.09

■ 充電のしかた

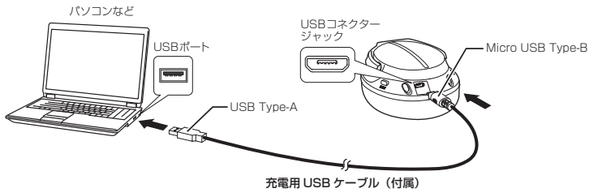
・初めて使用する際は、必ず充電を行ってください。
・初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
・充電中は本製品の電源が切れますので、本製品の機能を使用することはできません。

■ 付属の充電用USBケーブルを使用する場合

1 充電用 USB ケーブル（Micro USB Type-B）を本製品の USB コネクタージャックに接続します。

2 充電用 USB ケーブル (USB Type-A) をパソコンに接続して、充電を開始します。

・USB 対応 AC アダプター（当社別売）を使用すると、コンセントから充電することができます。



3 充電完了後、充電用 USB ケーブル（USB Type-A）をパソコンから取り外します。

・ヘッドホンの充電インジケーターが消灯すると充電完了（最長約 4 時間）です。

4 充電用 USB ケーブル（Micro USB Type-B）を本製品の USB コネクタージャックから取り外します。

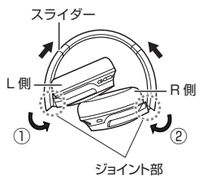
■ ATH-DWL770/550に同梱のトランスミッターを使用する場合

1 トランスミッターと AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。

2 トランスミッターの電源スイッチを「ON」にします。

・電源／通信インジケーターが赤く点灯します。

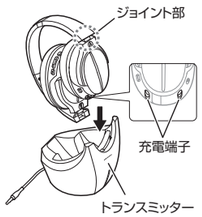
3 スライダーを閉じます。



4 先に本製品のジョイント部を支点に、L 側ハウジングをヘッドバンドの内側へしっかりと折りたたみます。次に充電端子がある R 側のハウジングを折りたたみます。

5 トランスミッターの上に置いて充電を開始します。

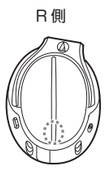
・R 側のハウジングとトランスミッターの充電端子が合わさるようにゆっくり置いて、充電を開始します。
・充電が開始すると、ヘッドホンの充電インジケーターが赤色に点灯します。
・ヘッドホンの充電インジケーターが消灯すると充電完了 (最長約 4 時間) です。



・本製品を折りたたむ際、付属のコードは取り外してください。
・ジョイント部に指などを挟まないようにご注意ください。
・本製品をご使用の際は、必ずハウジングを元の位置に戻してご使用ください。

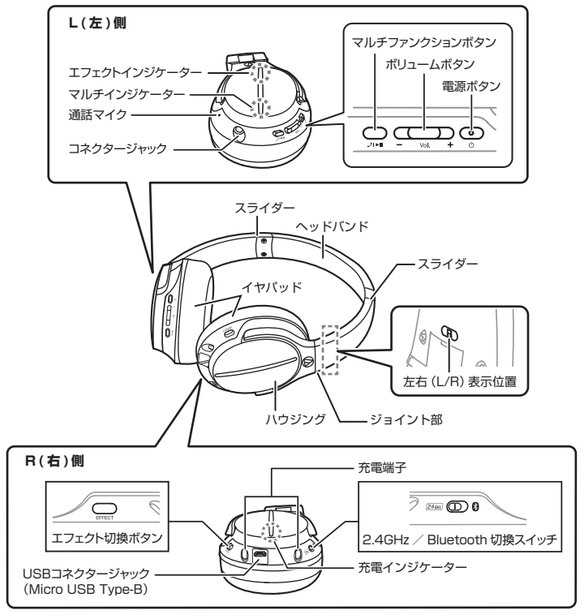
■ 充電時のインジケーターについて

動作状態	インジケーター表示パターン	●赤色
充電中	━━━━━━━━━━━━━━━━ …	点灯
満充電	- - - - - - - - - - - - - - - - …	消灯
充電エラー	● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● …	点滅



■ ATH-DWL770Rについて

■ 各部の名称



■ 3通りの接続方法

ATH-DWL770R は 3 通りの接続方法があります。シーンに合わせて様々な機器と接続し、使用することができます。

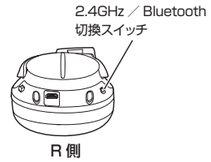
デジタルワイヤレス接続	Bluetooth 接続	有線接続
使用可能範囲：約30m	使用可能範囲：約10m	
2.4GHzのワイヤレス伝送で、テレビなどの音声を遅延が少なく聴くことができます。	Bluetooth接続によりワイヤレスで音楽を聴いたり、通話をすることができます。	ポータブルプレーヤーなどと、有線で接続して使用することができます。充電がなくなった場合でも、使用することができます。

■ ATH-DWL770Rとトランスミッターのペアリングのしかた

デジタルワイヤレス接続で使用する場合はトランスミッターとペアリングが必要です。

1 2.4GHz ／ Bluetooth 切換スイッチを「2.4GHz」に切り換えます。

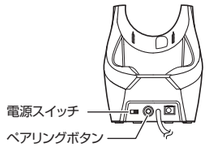
・お買い上げ時は「2.4GHz」に設定されています。



2 トランスミッターの電源スイッチを「ON」にします。

・トランスミッターとヘッドホンを 1m 以内に近づけ、間に障害物が無いことを確認してください。

3 ヘッドホンのマルチインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しします。

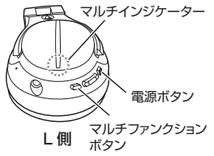


4 トランスミッターのペアリングボタンを押します。

・トランスミッターの電源／通信インジケーターが青色と赤色で交互に点滅します。

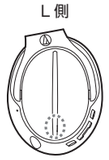
5 ヘッドホンのマルチファンクションボタンを長押し (約 5 秒) します。

・この操作はトランスミッターのペアリングボタンを押してから 15 秒以内に行ってください。
・ヘッドホンのマルチインジケーターが青色に点滅し、点滅がゆっくりになるとペアリング完了です。またトランスミッターの電源／通信インジケーターが青色に点灯します。



・ヘッドホンのマルチインジケーターが通信待ちの表示になった場合はペアリングが完了していません。その際は再度ペアリングを行ってください。

インジケーターについて



<マルチインジケーター>

動作状態	インジケーター表示パターン	●青色
ペアリング中	● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● …	点滅
通信中	● - - - - - - ● - - - - - - ● …	
通信待ち	━━ - - - ━━ - - - ━━ - - - ● …	

・ヘッドホンの電池残量が少なくなると、赤色に点滅します。

■ ATH-DWL770RとBluetooth機器のペアリングのしかた

ATH-DWL770Rは、スマートフォンなどとBluetooth接続を行うことで、音楽を聴いたり、通話をすることができます。

1 2.4GHz／Bluetooth 切換スイッチを「Bluetooth」に切り換えます。

2 ヘッドホンのマルチインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しします。

・必ず電源が切れている状態から電源を入れてください。
・電源が入るとマルチインジケーターが白色に光り、確認音が鳴ります。
・ペアリング状態に入ると、マルチインジケーターが白色に点滅します。
・ペアリングの前に対象の機器以外の Bluetooth 機器の電源を切ってください。

3 接続する Bluetooth 機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。

4 「ATH-DWL770」を選択し、接続する機器に登録します。

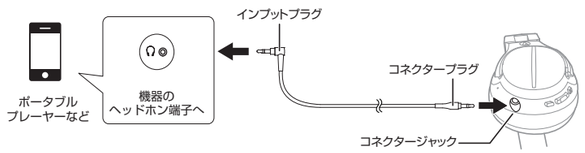
・機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。
・確認音が鳴ると、マルチインジケーターがゆっくり点滅し、ペアリングが完了します。
・マルチインジケーターの表示色は通信しているコーデックによって変わります。

■ 有線接続で使う

ATH-DWL770R は、ポータブルプレーヤーなどと、有線で接続して使用することができます。充電がなくなった場合でも、使用することができます。

1 付属のコードをヘッドホンのコネクタージャックと接続する機器のヘッドホン端子に接続します。

・コードは奥まで確実に挿入してください。

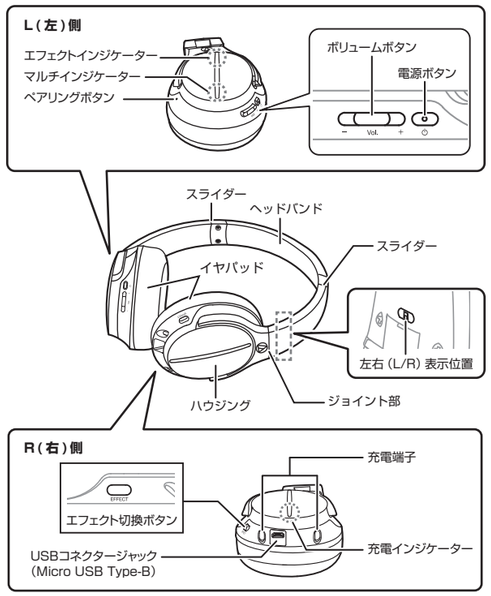


2 接続する機器で音量の調節をします。

・有線接続の場合、ヘッドホンの電源が切れマルチインジケーターが消灯します。エフェクト機能や音量調節などヘッドホン側の操作はできません。

■ ATH-DWL550Rについて

■ 各部の名称

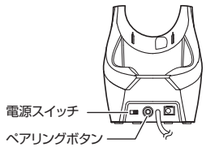


■ ATH-DWL550Rとトランスミッターのペアリングのしかた

1 トランスミッターの電源スイッチを「ON」にします。

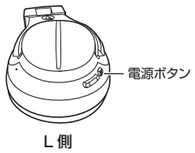
・トランスミッターとヘッドホンを 1m 以内に近づけ、間に障害物が無いことを確認してください。

2 ヘッドホンのマルチインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しします。



3 トランスミッターのペアリングボタンを押します。

・トランスミッターの電源／通信インジケーターが青色と赤色で交互に点滅します。



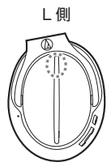
4 ヘッドホンのペアリングボタンを押します。

・ペアリングボタンの穴に細い棒などを差し込み、ボタンの感触があるまで押してください。
・この操作はトランスミッターのペアリングボタンを押してから 15 秒以内に行ってください。
・ヘッドホンのマルチインジケーターが青色に点滅し、点滅がゆっくりになるとペアリング完了です。またトランスミッターの電源／通信インジケーターが青色に点灯します。
・ヘッドホンのマルチインジケーターが通信待ちの表示になった場合はペアリングが完了していません。その際は再度ペアリングを行ってください。

■ SOUND VISION effectについて

楽曲や好みに合わせてエフェクト機能を切り換えることができます。エフェクト切換ボタンを押すごとに [OFF→バーチャルサラウンドモード→ゲームモード→クリアボイスモード→OFF→‥‥]の順にエフェクト機能が切り換わります。選択するエフェクト機能によってエフェクトインジケーターの点灯する色が変わります。

エフェクト機能		表示色
OFF	再生する機器の音をそのまま伝送します。	消灯
バーチャル サラウンドモード	立体描写に優れており、臨場感のある映画鑑賞などに適しています。	紫色
ゲームモード	効果音や爆発音、BGMなどの迫力のあるゲームプレイに適しています。	黄色
クリアボイスモード	ドラマやニュースのセリフやボーカル、ナレーションなど人の声が聞き取りやすくなります。	緑色



・お買い上げ時は「OFF」に設定されています。